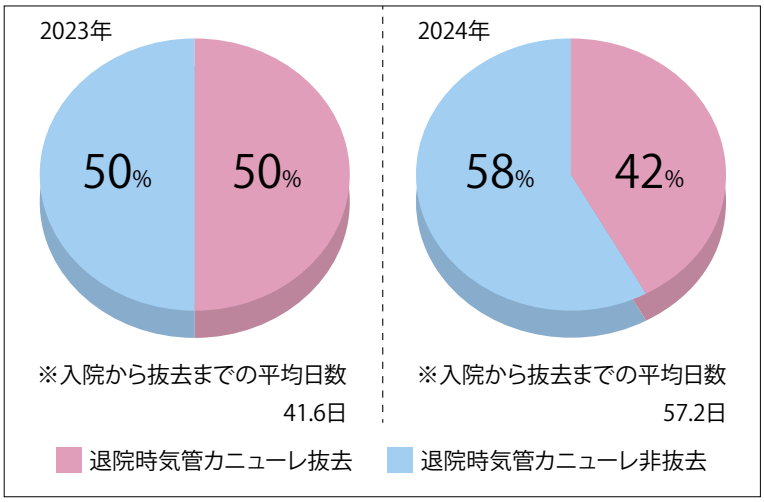
1-Ⅲ 気管切開・経管栄養・膀胱カテーテルの状況

※回復期リハビリテーション病棟協会が2025年2月に発表した「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」内の全国平均値（推定）を、一部、当院の実績と比較しています。

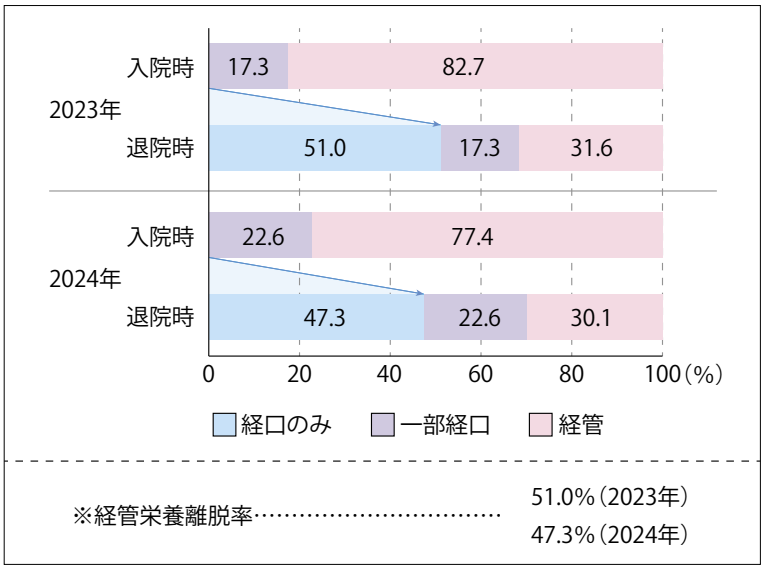
①気管切開抜去率（n=26）

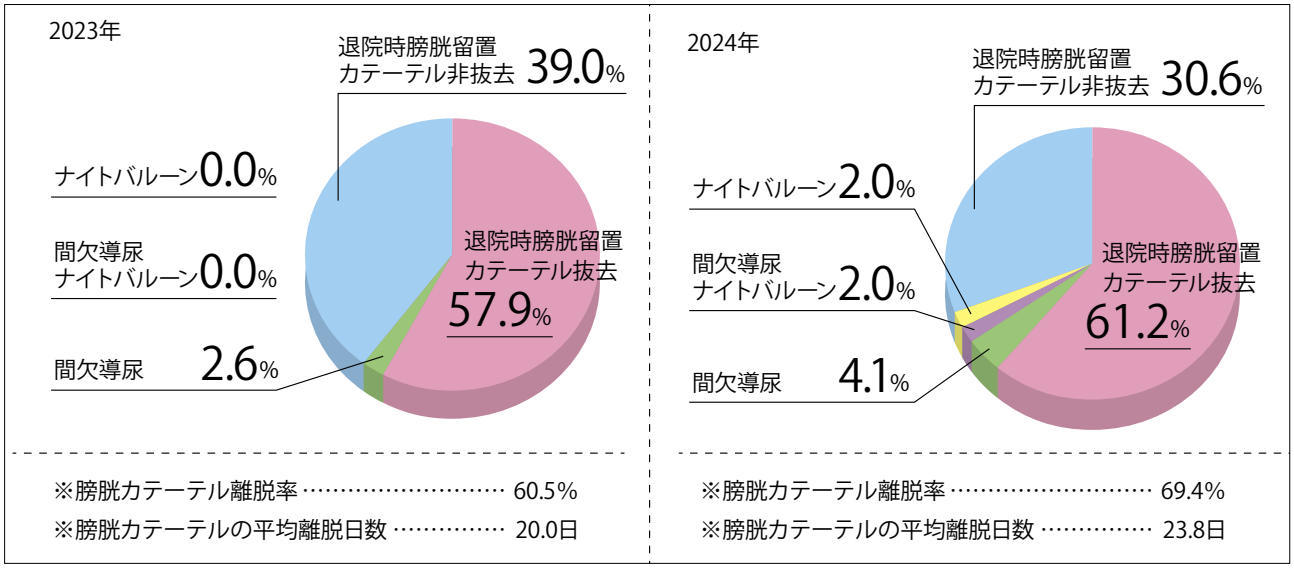
当院入院時に気管切開・気管カニューレ留置の状態で入院された方の 42%が、退院までに気管カニューレを抜去し、気管切開孔を閉鎖することが出来ました。



②経管栄養離脱率（n=93）

口から十分に食べられずに経管栄養が必要な状態で当院に入院された方のうち、47.3%の方が退院までに 3 食経口摂取ができるようになり、22.6%の方が一部経口摂取可能となりました。※全国離脱率（推定）25.0%



③膀胱カテーテルの離脱率（n=49）

膀胱カテーテル留置の状態で入院された方のうち、65.3%の方のカテーテルを抜くことができ、自排尿の状態で退院されました。※全国離脱率（推定）49.6%